

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名（ 信濃化学工業株式会社 ）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			・年に数回社員教育を実施し、経営陣が積極的に関与している。 ・総務部長を相談窓口としている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			・ハラスメント禁止の旨を就業規則に明記 ・総務部長を相談窓口としている ・「長野県社員子育て応援宣言認証」取得(2023年8月)					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			・長時間労働は正の為、労働生産性の改善(生産設備を導入し自動化の推進)や部門ごとの時間外管理を行っている「長野県職場いきいきアドバンスカンパニー認証」取得(2023年10月)								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)	【非該当】		・現在外国人労働者がおらず、また今後も採用計画がない為				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・社員向けの労働安全衛生講習会の実施や、月に一度安全衛生管理委員による職場の見回りを行い危険箇所が見つかったら、周知と改善を行う			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			・厚生労働省「労働者の心の健康の保持増進のための指針」に基づき「心の健康づくり計画」を策定し運用している ・年に1度ストレスチェックを全社員実施している			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・多様な人材が活躍できるよう、短時間勤務や適切な職場への人員配置に取り組んでいる ・2016年より障害者を1名雇用。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			・職務や役職に応じた外部研修の受講や、通信教育希望者には一定額の補助を支給 ・資格取得費用の一部補助を支給 ・社内集合教育の積極的推進				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			【予定】 ・【予定】同一労働同一賃金の原則に則った体制の設備、対応に取り組んでいく					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・「健康経営優良法人」認定基準を遵守した取組みを行っている(2025年取得)			3					8									
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			・廃棄物の種類や量を適時把握して、期限迄にマニユフェストが返ってきていることを確認する為、台帳で期日管理に取り組んでいる											11.6	12		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			・エネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握するとともに、より効率の良い事業運営を図っている。 「エコアクション21」の認証を取得している(2015年4月～継続中)							7.3					13					
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			・温室効果ガス排出量の把握をすると共に、事業所にLED照明や営業車にハイブリット車(19台)を導入して温室効果ガスの排出量抑制に取り組んでいる							7.2 7.3				12.4	13.3					
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)			・規制対象の有害物質を把握すると共に、使用や廃棄方法等適切な使用に取り組んでいる			3.9			6.3					11.6	12.4					

項目 番号	カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
15	環 境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			・生分解性プラスチックの林業資材提供を通じて、生態系の保全に配慮した事業活動を推進している						6.6								15			
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			・顧客に販売したプラスチック食器を一部回収リサイクル資源としている(メラミン・PP) ・社内排出物の有効利用推進										13		14.1					
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・水使用量の把握と共に自動水栓の導入や雨水貯水タンクの設置をして、水使用量の抑制に取り組んでいる						6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)			「エコアクション21」を取得している(2015年4月～継続中)			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)			エコアクション21の活動に基づき、当社ホームページ及び、EA21中央事務局ホームページにおいて「環境経営レポート」を公表している												12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・再生可能エネルギーの発電設備・導入(2025年 月～)							7.2						13				
21	公 正 な 事 業 慣 行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・営業車にハイブリット車を19台導入しており、石油資源の使用量の削減に務めている												12.2	13	14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・「就業規則」、「行動規範」に禁止の旨を明記している																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・「就業規則」、「行動規範」に禁止の旨を明記している																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			・プラスチック食器の一部製品に対して、特許を取得して知的財産権の保護に取り組んでいる							8.2 8.3	9									
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			・「個人情報保護方針」を定め社員教育を実施し、適切な取り扱いに務めるとともに、ホームページにも公表している																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)			・当事業では、紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・取引先と倫理面について、文書により取り組み状況の確認活動を行っている					5		8		10		12	13	14	15	16	17	
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト： https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)			「構築宣言」申請済み			3				8	9	10							17	

項目 番号	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (異などの取得証拠があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 (必須)			・製品の安全確保の観点から、食器等出荷時に「取り扱い説明書」を同梱している。 ・生産物賠償責任(PL)保険に加入。			3.9									12.4					
30	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 (必須)			・ISO9001:2015取得(1999年4月)し、製品の品質管理向上に努めている。									9								
31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・生分解性プラスチックを原料として、林業資材開発に取り組み商品として販売している。 ・資源の循環型事業活動への移行を積極的に推進している。						6						12	13	14	15		
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・病人や老人保健施設へユニバーサル食器等を製造販売している。また、労働人口減少を補う調理方法の普及に対応する商品を開発し、販売を開始した。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 (必須)			・定期的に地域の会合に担当者が出席して自社事業が地域に与える影響を把握して、必要に応じて対応している。				4					9		11	12		14	15		17
34	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・プラスチックスマート運動を積極的に推進。 ・海洋ゴミ問題解消を目指す。 ・会社内、会社外周の清掃活動に月2回実施している。 ・地震、災害発生時の日本赤十字社への募金活動を実施している。				4							11			14	15		17
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ (任意)			・地域の取引先から梱包資材等の仕入れを行っており、地域の事業者との取引を推進している。							8	9			11	12	13				
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本 (必須)			・経営理念を明文化しており、週に一度の全体朝礼で経営理念の唱和を行っている。 ・年に一度の式典時に経営者から経営目標の発表するとともに、紙媒体にて社内に掲示している。								8	9								17
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 (必須)			・入社時に教育訓練を実施 ・就業規則、行動規範に法令遵守の旨を明記している																	16
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 (必須)			・エコアクション21の活動を通じて、環境・社会に及ぼす影響に対応する責任者(担当役員)を任命している。																	16
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本 (必須)			・ISO9001:2015、エコアクション21の活動を通じて、自社の活動が及ぼす影響を把握し、適切に対応している。																	16 17
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ (任意)			・ISO9001:2015、エコアクション21の活動を通じて、リスクを特定・把握し、プロセスアプローチによりマネジメントしている。																	16
41	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・地球環境に配慮した生分解性の林業資材を研究開発しており、環境に及ぼす影響を軽減する為取り組んでいる。																	16
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)			・2016年11月よりBCPを策定し、体制を整備している。 ・関東経済産業局「事業継続力強化計画」認定(2021年10月)。									9		11		13 13.1				16
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)			・2018年度に社長交代を実施し、新体制への整備を進めている。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
「陸や海の豊かさを守る」「自然環境に優しい」生分解性プラスチック製品を取り扱っております。林業界にて主に使用される資材を現場のシーンに合わせ、生分解性プラスチック製及び、ポリエチレン製等、全ての製品が日本バイオプラスチック協会（JBPDA）認定取得しております。		・取り扱っている製品は二酸化炭素と水に分解されて土に還る生分解性プラスチックです。																	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定